

取扱説明書 WRBI-AI8

BACnet MS/TP 対応 I/O モジュール

WRBI シリーズ アナログ入力モジュール

この度は、*watanabe*製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご希望通りの仕様であるか、定格ラベルの表示事項をお確かめの上、この説明書に沿ってご活用ください。

本製品は、厳重な品質管理基準にもとづいて製造・検査されております。万一、輸送上の破損等で不都合がございましたら、なるべく早く弊社またはお買い上げいただいた販売店までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

本製品は8量の直流信号を入力するモジュールです。WRBI設定ツールにて各種パラメータ変更及び模擬入力を現地で行うことができます。

また、WRBCシリーズと端子互換の為、既設のWRBCの配線を変えることなく、LonTalkからBACnet MS/TPへのプロトコル変更が可能です。

本取扱説明書では、本製品の設置、接続方法について説明しています。この他に設定方法につきましては、下記取扱説明書をご利用ください。

弊社ホームページよりダウンロードの上、ご確認をお願いします。

<http://www.watanabe-electric.co.jp/>

●梱包物の確認

- ・WRBI-AI8 モジュール 1台

●別売品

品名	型式	仕様
専用USBケーブル	WMB-USBC	設定ツール用

●弊社ホームページからの無償ダウンロード品(上記URL参照)

品名	型式・文書番号
WRBI設定ツール	WRS-BST
BACnet MS/TP対応 I/OモジュールWRBIシリーズ 取扱説明書	IM-0907
WRBI設定ツール 取扱説明書	IM-0908

1. ご注意事項

本製品を正しく安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管し、必要なときにお読みください。

使用上の制限

- 本製品を人体の生命維持を行うことを予定した装置の一部として使用しないでください。
- 本製品が故障した場合に人身事故または物的損害に直結する使い方をしないでください。

・注意

- 本製品を分解、改造して使用しないでください。故障、感電または火災の原因になります。

1-1. 使用環境や使用条件について

次のような場所では使用しないでください。誤作動や寿命低下につながる恐れがあります。

- ・使用周囲温度が-5~55℃の範囲を超える場所
- ・使用周囲湿度が10~90%RHの範囲を超える場所、または氷結・結露する場所
- ・塵埃、金属粉などの多い場所
(防塵設計の筐体への収納及び放熱対策が必要)
- ・腐食性ガス、塩分、油煙の多い場所
- ・振動、衝撃の心配及び影響のある場所
- ・雨、水滴のかかる場所
- ・強電磁界や外来ノイズの多い場所

1-2. 取り付け、接続について

- ・設置、接続の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、専門の技術を有する人が設置、接続を行ってください。
- ・電源ライン、入力ライン、通信ラインの配線はノイズの発生源や、リレー駆動ラインの近くに配線しないでください。
- ・ノイズが重畳しているラインとの結束や、同一ダクト内への収納は、通信異常の原因となる恐れがあります。
- ・本体ケースの通風口はふさがないようにしてください。
- ・本製品は電源投入後またはリスタート後、90秒間は通信を行わない仕様となっております。

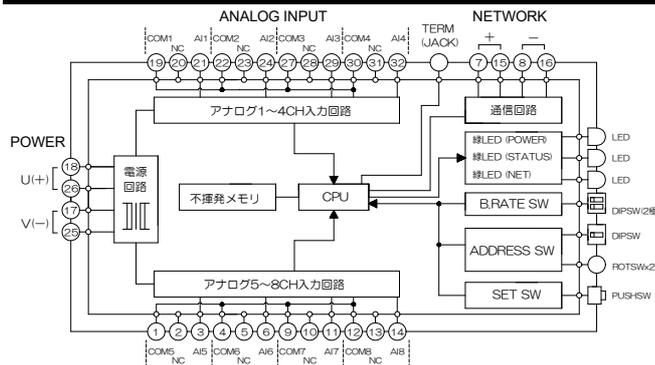
1-3. 使用する前の確認について

- ・設置場所は、使用環境や使用条件を守ってご活用ください。
- ・電源定格(電圧、周波数など)をご確認ください。

2. 仕様

- 電源仕様
AC100~240V±10% 消費電力:約2.5VA(AC100V)
- アナログ入力部
入力信号 : 直流電圧または直流電流
※ご注文時指定(製品フロントに記載)
- 入力方式 : シングルエンド
- A/D変換方式 : ΔΣ方式
- 入力レンジ : DC0~100mV、0~1V、0~5V、1~5V
0~10V、±1V、±5V、±10V
上記仕様の場合(入力抵抗 1MΩ)
DC0~20mA、4~20mA(入力抵抗 50Ω)
4~20mA(入力抵抗 250Ω)
- サンプリング時間 : 約150ms/1CHあたり
- 許容差 : ±0.1%fs
- 周囲温度の影響 : ±0.1%fs/°C
- 入力点数 : 8量
- 入力コモン : 入力1量に対して1コモン
- 入力設定 : 単位設定、ゼロ調整、スパン調整

3. 回路ブロック図

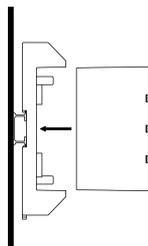


※通信3線式の場合は、15番"SG"、16番"NC"

4. DIN レールへの固定方法

4-1. 取り付け

- ①白色のスライダが下側になるように取付けます。裏側のフックをレールにかけ、矢印の方向にカチッと音がするまで押し下下さい。



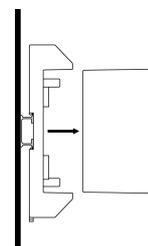
- ②本体を差す前に必ず電源を切って下さい。本体の上下を確かめて真っ直ぐ差し込みます。(上下が逆だとおさまらなくなってしまいます。)

- ③ネジで本体を必ず固定して下さい。ネジで固定しないと振動や衝撃で本体が脱落したり、接触不良を起こし事故の原因になります。

本体固定ネジ締めトルク
:0.3~0.5N・m(3.1~5.1kgf・cm)

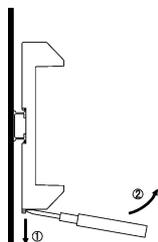
4-2. 取りはずし

- ①2ヶ所のネジをドライバーを使って外します。



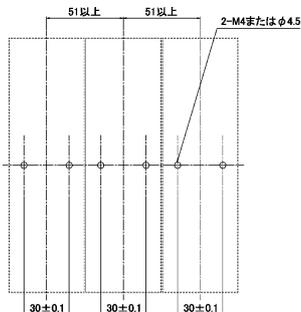
- ②本体を外す前に必ず電源を切って下さい。本体を真っ直ぐ手前に引くと外れます。

- ③白色のスライダの溝にドライバーを差し込んで①の矢印の方向に下げながらソケットを②の矢印の方向に引くと外れます。

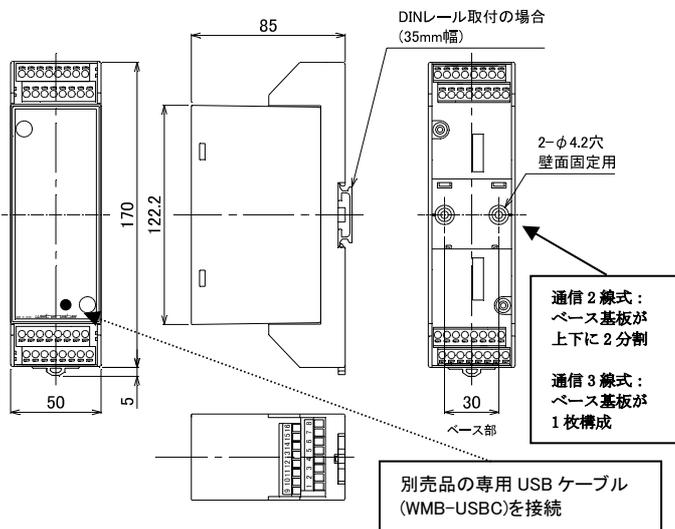


5. 壁面への固定方法

M4 ネジを 2 本使用して固定します。



6. 外形寸法図、及び端子配列



結線部ネジ締めトルク
: 0.5~0.6N・m (5.1~6.1kgf・cm)

端子番号	銘板表記	内容	端子番号	銘板表記	内容
1	COM5	コモン 5	17	POWER	電源 V(-)端子
2	NC	空端子	18	POWER	電源 U(+)端子
3	AI 5	アナログ入力 5	19	COM1	コモン 1
4	COM6	コモン 6	20	NC	空端子
5	NC	空端子	21	AI 1	アナログ入力 1
6	AI 6	アナログ入力 6	22	COM2	コモン 2
7	+	通信 +端子	23	NC	空端子
8	-	通信 -端子	24	AI 2	アナログ入力 2
9	COM7	コモン 7	25	POWER	電源 V(-)端子
10	NC	空端子	26	POWER	電源 U(+)端子
11	AI 7	アナログ入力 7	27	COM3	コモン 3
12	COM8	コモン 8	28	NC	空端子
13	NC	空端子	29	AI 3	アナログ入力 3
14	AI 8	アナログ入力 8	30	COM4	コモン 4
15	+	通信 +端子	31	NC	空端子
16	-	通信 -端子	32	AI 4	アナログ入力 4

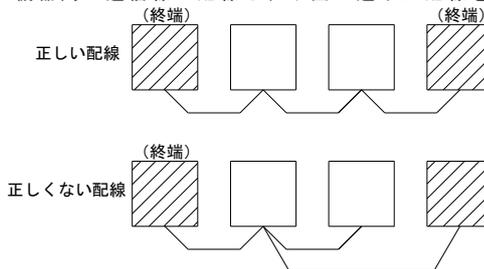
- *1 通信 3 線式の場合は、15 番 “SG”、16 番 “NC”
 - *2 アナログ入力 1~8 用のコモンは内部で共通となっております。
 - *3 終端抵抗
 - 2 線式端子台の場合：通信端子の “7-8 番間” または “15-16 番間” に終端抵抗 100Ω~220Ω を接続して下さい。
 - 3 線式端子台の場合：通信端子の “7-8 番間” に終端抵抗 100Ω~220Ω を接続して下さい。
- (ケーブルの種類によって適正値が異なりますが、上記の抵抗値で問題ないことを確認済みです。但し、両端の終端抵抗値は、同じ抵抗値にして下さい。)

7. 通信線の配線

通信線には以下の仕様と同等のケーブルをお使いください。
推奨通信線

ケーブル	サイズ	相当品
シールド付ツイストペアケーブル	AWG16 ~ AWG24	日立金属 (日立電線) CO-SPEV-SB (A) 1P×0.3SQ LF等 (AWG22相当)

機器間の配線について
機器間の通信線の配線は、下図の通りに配線を行ってください。



8. 各部の名称、及び機能

●LED の状態

機能	色	状態	動作
POWER	緑	通常動作時	連続点灯
		通信設定確定	2 回点滅 (ON/OFF ともに 250ms)
		模擬入力中	連続点滅 (ON/OFF ともに 250ms)
STATUS	緑	通常動作時	消灯
		通信異常時	連続点灯
		動作異常 (軽故障)	連続 3 回点滅 (ON/OFF ともに 250ms)
NET	緑	通常動作時	全 LED 点灯
		動作異常 (停止)	全 LED 点灯
		設定値書き込み中	書き込み中点滅 (ON/OFF ともに 1s)

●操作スイッチ

スイッチ名	機能	動作
SET.SW	セットスイッチ	3 秒長押しで設定を有効にする。(確定時、POWER LED が 2 回点滅)
B.RATE	ボーレート設定	通信速度を設定
ADDRESS	アドレス設定	アドレス “000~127” を設定

○通信速度設定 (DIP SW2 極)

ボーレート	DIP SW(2 極)
9600bps	ON, OFF
19200bps	ON, ON
38400bps	OFF, OFF (デフォルト)
76800bps	OFF, ON

- アドレス設定スイッチ
アドレスを設定する際に使用します。アドレスは 0 から 127 まで設定できます。それ以外の値には設定しないでください。(電源投入、またはセットスイッチを 3 秒長押しにより、アドレス・通信速度設定が反映されます。)
- ※デバイスインスタンスIDは、電源投入時、セットスイッチ 3 秒長押し時、Reinitialize Device-B (DM-RD-B) 送信時のアドレススイッチの状態によって以下のように割り振られます。
自動割り当てデバイスインスタンスID=アドレス (0~127)
Device Object Identifierを通信から設定すると自動割り当ては無効になります。
- TERM (設定ツール接続用コネクタ)
WRBI設定ツール (WRBI-BST: 無償ダウンロード) を接続する際に使用します。詳細はWRBI設定ツールの取扱説明書 (IM-0908) を参照してください。

9. 保証

- 9-1. 保証期間
本製品の保証期間は納入後 1 年間といたします。
- 9-2. 保証範囲
保証期間内に弊社側の責により故障が生じた場合は、代替品の提供または故障品の預かり修理を無償で実施させていただきます。ただし、故障の原因が次に該当する場合はこの保証の対象範囲から除外いたします。
①本取扱説明書に記載されている条件、環境、取扱いの範囲を逸脱してご使用された場合
②弊社以外による構造、性能、仕様などの改変、修理による場合
③本製品以外の原因による場合
④弊社出荷時の科学、技術の水準では予見できなかった場合
⑤その他、天災、災害、不可抗力など弊社側の責ではない原因による場合
なお、ここでいう保証は本製品単体の保証に限るもので、本製品の故障や瑕疵から誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。
- 9-3. 責任の制限
本製品に起因して生じた損害に関しては、弊社はいかなる場合も責任を負いません。